



※ 第二いずみの里ホームページにてカラー版がご覧になれます。“中東福祉会”で検索

新年のご挨拶

2021



新年あけましておめでとうございます。

昨年の暖冬の暮らしやすさから一転、記録的な大雪の年始となりました。1月の3連休は雪かきに明け暮れた方も多かったのではないのでしょうか。第二いずみの里も雪で覆われ、職員が時間通りに出勤できないこともありましたが、ご利用者の皆様も状況をご理解くださり落ち着いて行動していただきました。大変感謝いたします。

新型コロナウイルス対策に加えて今回の大雪と辛抱が続く毎日ですが、このような時ほど「気遣いの言葉」「謙虚な言葉」に救われるものです。昨年12月の関越道での立ち往生。救助を待っていた運転手に、雪道を6km歩いて救助にきた自衛隊が「遅れてすみません」と声をかけたということが話題になりました。心身ともに鍛えられた自衛隊員だからこそ厳しい状況下でもこのような謙虚な言葉をかけることができるのかもしれませんが、自分の周りの人が、そして自分自身がちょっと困った時にこそ「気遣いの言葉」「謙虚な言葉」が言える、そういう人でありたい、また、そういう施設でありたいと思うニュースでした。

新型コロナウイルス感染症が予断を許さない状況であり、今後ご利用者、ご家族には感染防止のご協力を引き続きお願いすることになりますが、ご理解のほどよろしくお祈りいたします。

今年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。 (年女園長 山崎桂子)

年末年始イベントの様子

今年も年末年始に様々なイベントを企画しました。セレクトスイーツDAYや大晦日のカラオケ大会、年明けにはカルタ大会や書初め、そして新年会と、笑顔溢れる新年のスタートとなりました。

カルタ大会は職員手作りの特大カルタを囲み真剣勝負！大いに盛り上がりました。



新年会では、職員が二人羽織りを披露しました。女性チームはシュークリーム、男性チームは熱々おでんとお化粧品に挑戦しましたが、普段とは違う職員の表情や反応に、皆さんも大笑い。

笑いの健康効果はよく知られています。「笑う門には福来る」年になりそうな、そんな一年の始まりとなりました。



男性も化粧すすからね代で

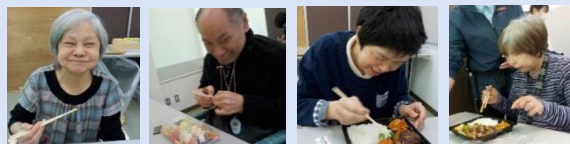


作品のご紹介

管理棟廊下の展示壁に、ご利用者の書初めと新年のメッセージカードを飾りました。清々しい字、気持ちのこもった言葉が皆さんに元気を届けます！



いつかお店で...



コロナ感染予防として外出行事を自粛しています。外出を予定していた皆様には、ドライブやテイクアウト昼食で出来る限り楽しんでいただきました。お店に行ったのと同じ・・・とまではいきませんが、ご希望を伺いお寿司やハンバーグ等を召し上がっていただきました。

苦情窓口

苦情解決責任者 山崎桂子
苦情受付担当者 梅田裕